

2020年第1回理事会議事録

期 日：2020年6月30日（火）～7月15日（水） メール審議

出席者：青木茂樹、内田幸司、江田哲男、大野誠一郎、小倉明夫、笠井治昌、菊地克彦、
小林靖宏、後藤政実、熊代正行、高橋光幸、寺田理希、土井 司、沼野智一、
山崎 良、吉丸大輔

1. 第15回磁気共鳴専門技術者「延期」認定試験の実施について

- (1) 申請資格 第15回磁気共鳴専門技術者認定試験に申請し、受験資格を得た者
(再度中止になることも承知のうえ、機構の方針を対象者に伝えるために開催する)
- (2) 期日 2020年（令和2年）9月21日（月・祝）12:30～15:15
- (3) 会場 東京都立大学 荒川キャンパス講堂・182・183・186 教室
- (4) 集合 12:30（試験会場の開場 11:30）
- (5) 筆記試験 (1) 12:45 ～ 13:45 基礎物理，撮像技術，応用技術，読影技術 など
(2) 14:00 ～ 15:10 保守管理，安全性，アーチファクト，解剖 など
- (6) 安全講習 事前オンライン受講（受講修了書を当日に持参）
- (7) 申請方法 ホームページの会員情報システム（RacNe）から申請
- (8) 申請受付 2020年7月20日（月）～8月31日（火）
- (9) 試験実施最終判断日 2020年9月12日（土）
- (10) 受験料の支払い 認定試験受験終了から10日以内にクレジットカード，payeasy もしくはコンビニのpayeasyから支払う。
- (11) 受験資格 Cocoaにて2週間、陽性者との接触がなかったことを確認できる方
試験当日に37.5℃以上の発熱もしくは倦怠感など体調不良でない方
- (12) 認定試験実施にあたっての重要な注意事項
 - 1) 開催する方向で準備するが、今後の新型コロナの蔓延状況によっては試験の実施が中止になる可能性が高い。
 - 2) 国もしくは地方自治体から都道府県を跨ぐヒトの移動を自粛する要請が発令されれば試験の実施を中止にする。
 - 3) 会場定員の半数以下の収容設定でも試験などの開催が抑制されれば中止にする。
 - 4) 開催によって受験者・関係者の感染リスクが高まり、クラスターが発生する可能性が高いと理事会が判断した場合は中止にします。
 - 5) 会場スタッフの確保ができない場合は中止にする。
 - 6) 地方自治体（東京都以外）が発令した緊急事態宣言・非常事態宣言の場合は、受験者自身が受験するか否かを判断する。ただし職場から業務上必要と認められ、承認を得た場合は受験を認める。
 - 7) 各施設において参加の可否を必ず確認し、自己責任で受験をしていただく。
 - 8) 試験後の問題等に関しては、当機構では基本的に対応しない。

(13) 機構側の対応

- 1) 受付を分散する（会場ごとの受付）。
- 2) 会場入り口前での検温・問診の実施と消毒液を設置する。
- 3) 受験者およびスタッフはサージカルマスクを着用する。
- 4) 試験会場ごとの受験者数は会場の収容人数の半数以下にする。
- 5) 受験座席の間隔を十分（2m 以上）にとる。
- 6) 試験会場の換気を十分（会場の窓を開けっ放し）にする。
- 7) 東京都内でグループでの不要不急の飲食を控えるように呼び掛ける。
- 8) 可能な限り日帰りでの受験を推奨する。

(14) 認定試験後のスケジュール

- 1) 第 15 回磁気共鳴（MR）専門技術者認定者通知：2020 年 10 月 20 日予定
- 2) 磁気共鳴（MR）専門技術者認定料（登録料）：11 月末までに 10,000 円が必要です。

(15) 認定試験実行委員会の編成について

試験の開催案内をした後に、再度関東地区の実行委員を依頼する。

2. 第 13 回医療安全セミナーの開催

- 1) 例年の机上での講義とハンズオンセミナーは中止する。
- 2) web セミナーが開催可能かを検討する。

3. 第 16 回磁気共鳴専門技術者認定試験の開催について（関西開催）

- 1) 神戸大学病院もしくは関西地区で会場を設定する。
- 2) 例年通り 3 月中の開催を目指す。

4. 学術調査研究活動の支援

(1) 2018 年度からの学術調査研究班 2 班から活動延長申請について

- 1) 新型コロナウイルスのため活動が進捗しなかったため活動の延長を認める。
- 2) ただし再延長は認めない。期限は 2021 年 3 月までとする。

(2) 2020 年度の学術調査研究班の申請に対する審査

「MRI 検査に係る問診・安全確認に関する実態調査と分析」

代表研究者：矢部邦宏（山形県立新庄病院）

- 1) 承認

5. その他

(1) 自宅が火事に見舞われた認定者の認定証と認定バッジの再発行について

- 1) 状況を鑑みて無償で再発行する。

以上